

4つの優先・重点分野

平成29年度宇都宮市予算から

新は新規事業

子育て支援・健康づくり

- 結婚・妊娠・出産の希望をかなえる支援
- 新「とちぎ結婚支援センター」の県との共同運営
子育て環境の充実
- 新 保育所等の受け入れ児童数増員への助成
- 新 生活保護世帯児童の給食費、行事費等への助成
- 新 市内の保育施設等を見学するバスツアーの開催
- 新 専任の指導員による日常的な巡回指導等の実施
- 新 子どもの家等に入所する生活困窮世帯児童の負担金の一部助成
子育て支援の充実
- 新 産婦健康診査時に「産後うつ検査」を実施
からだところの健康づくりの推進
- 新 がんの罹患率が高く、受診率が低い年齢層等への再勧奨を実施
- 新 事業所における健康づくりを促進するための健康講座を実施
- 新 第2次歯科口腔保健基本計画の策定
- 新 ドナーが安心して骨髄を提供できる環境を整備するための助成制度を創設
地域における健康づくりの充実
- 新 健康サポート薬局の普及のための研修会の実施
地域で安心して暮らせる環境の充実
- 新 「看取り」や「摂食嚥下障害」に関する市民啓発の実施
- 新 介護予防・日常生活支援総合事業の実施
- 新 地域でのネットワーク構築やサービス創出などの支援
- 新 生活支援サービス等の担い手養成研修の実施
スポーツ活動の推進
- 新 北西部地域への体育施設整備基本構想の策定



魅力ある地域づくり・経済の活性化

- 東京圏からの移住・定住の促進
- 新 移住・定住関連情報を集約したアプリの開発
- 新 移転企業の新規雇用に対する助成 など
大谷地域の振興
- 新 大各地区とろまんちっく村を結ぶ周遊バスの運行 など
魅力ある観光と交流の促進
- 新 宇都宮シクロクロスシリーズ国際レースの開催
- 新 沖縄県における観光PRイベントの実施 など
中心市街地の活性化
- 新 釜川周辺地区のアプローチ灯の整備 など
地域の安全対策の推進
- 新 老朽危険空き家の除却に対する助成 など
地域産業の振興
- 新 本市産業基盤強化に向けた産業・企業の動向把握などの調査を実施
雇用の創出と安定
- 新 県内高等学校等の進路指導担当者と市内企業との人材情報交換会を実施
中小企業の経営支援
- 新 起業希望者交流会・個別相談会の開催 など
農業の持続力と競争力の向上
- 新 農業体験希望者を受け入れる農家への助成 など



「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成

- 都市拠点の形成
- 新 立地適正化計画を踏まえた、都市機能誘導区域における誘導施設立地への助成
- 新 第3次都市計画マスタープランの策定
- 新 中心市街地における低・未利用地の有効活用の促進
道路ネットワークの構築
- 新 JR宇都宮駅東側のバス路線再編計画に係る調査の実施
- 新 公共交通利用の啓発用動画の作成
- 新 バスと鉄道や地域内交通の乗り継ぎポイントにおけるバス接近表示機設置への助成
自転車のまち宇都宮の推進
- 新 自転車を活用した拠点整備基本計画の策定
- 新 自転車通勤促進策の検討
- 新 中心市街地における駐輪環境向上策の検討 など



あらゆる分野における人づくり

- 都市経営・自治
- 新 市民の地域貢献活動に対し、ポイントを付与・交換する事業の実施に向けた検討
- 新 男女共同参画意識を醸成するため、市民からの公募企画による講座を開催
子育て・教育
- 新 小学1・2年生に加え、小学3年生まで35人学級を拡大
- 新 校舎の劣化状況を把握するためのコンクリートコア
抜き調査を実施



シリーズ LRT ライトレールトランジット (Light rail transit) 第11回

平成29年度宇都宮市一般会計予算

LRT整備費76億円を計上

平成29年度宇都宮市一般会計予算に、LRT整備費として76億1,210万1千円が計上されました。財源は、一般財源が4億8,536万6千円、国支出金が36億2,133万5千円、地方債が30億864万円、公共施設等整備基金からの繰入金で4億1,900万円となっています。

この予算に基づき、平成29年度には、JR宇都宮駅東側の工事施工認可の申請・取得、都市計画事業認可の申請・取得、鬼怒川橋りょう工事、軌道・道路工事、用地取得、また、駅西側における導入課題検討調査の実施など、LRT運行に向けた動きが本格化します。

宇都宮市議会

芳賀・宇都宮LRT整備の推進に関する決議を可決

宇都宮市議会には、これまでに1団体から「宇都宮市・芳賀町LRT整備の推進

に関する要望」が提出されました。

自由民主党議員会では、要望を受け、「芳賀・宇都宮LRT整備の推進に関する決議（案）」を提出。第1回定例会最終日の3月22日の本会議で、自由民主党議員会などの賛成で可決されました。

自由民主党議員会では、LRTに期待する市民の皆様の声に耳を傾けながら、事業を順調に推進し、市民の皆様が「車に頼らなくても生活できる交通未来都市」を目指してまいります。

要望書を提出された17団体は下記の通り

株式会社栃木サッカークラブ、清原地域振興協議会、清原地区自治会連合会、清原地区自治公民館連絡協議会、市民団体雷都レールとちぎ、栃木県LRT研究会、特定非営利活動法人宇都宮中心商店街活性化委員会、宇都宮中心商店街みやヒルズ活性化委員会、芳賀町商工会、サイクルスポーツマネージメント株式会社、宇都宮ホテル旅館協同組合、栃木県障害福祉振興連盟、公益社団法人宇都宮青年会議所、駅東まちづくり21公益社団法人栃木県宅地建物取引業協会県支部、公益社団法人栃木県宅地建物取引業協会、宇都宮市建設産業団体連絡協議会（提出日順）

芳賀・宇都宮LRT整備の推進に関する決議

芳賀町・宇都宮市においては、人口減少・少子超高齢社会への対応、環境負荷の低減、地域の活性化、ひいては地方創生の観点から、誰もが利用できる環境にやさしい公共交通ネットワークの構築を目指し、その基軸となるLRT（次世代型路面電車）の整備に取り組んでいるところであるが、私たちは、この公共交通ネットワークは、町民・市民の円滑で自由な移動を飛躍的に向上させ、多様で豊かなライフスタイルの創出に資するものであると、切に待ち望んでいるところである。

また、このLRTを初め、路線バスやデマンドタクシーも含めた広範囲な公共交通ネットワークの実現は、芳賀町・宇都宮市のみならず、県央地域における広域的な公共交通の利便性向上に資するとともに、本県の経済、産業、雇用を牽引し、年間約190億円の税収を生み出す都市拠点としての機能の強化に寄与するものと確信しているところである。

こうした中、芳賀町・宇都宮市においては、LRTの早期整備・実現に向けた取り組みを進め、昨年9月には、国により、LRTの事業計画である軌道運送高度化実施計画が認可されたところであり、国内初となる全線新設によるLRT整備という歴史的な事業が、これまでの綿密な調査や事業検討、懇切丁寧な町民・市民との合意形成などの取り組みにより結実し、具体的な整備に向けて新たな一歩を踏み出した。

このようなことから、関係諸機関においては、LRT整備について格段の配慮をされるよう、強く要望する。

以上、決議する。